

## 輸出事業計画

※申請者名：株式会社ヤマシ、品目：冷凍ホタテ貝柱

### 1. 輸出における現状と課題

#### 〈現状〉

当社は、2008年対米HACCP認証（品目：ベビーホタテ）取得後、2017年移転先新工場竣工の翌年に対米HACCPを取得し、米国、中国、台湾など、冷凍ホタテ貝柱など水産会社及び商社を通じた輸出実績がある。

#### 〈課題〉（共通）

##### 【生産・製造】

- (1)輸出拡大に伴う増産によって、衛生管理・品質管理の強化が必要。
- (2)ベビーホタテと冷凍ホタテ貝柱の現行製造ラインは横並びで処理している為、交差汚染対策が必要。
- (3)ホタテの産地を陸奥湾産に限定している為、調達リスクがあり、適正価格で安定的な原料確保が必要。

##### 【流通】

- (1)輸出拡大の為に新たな流通経路の確保が必要。

##### 【販売】

- (1)現状の自社グループ会社経由の輸出とは異なる輸出に効果的な新たな販路開拓が必要。

### 2. 輸出事業計画の取組内容

#### 〈課題解決に向けた取組内容〉（共通）

##### 【生産・製造】

- (1)品質管理・衛生管理を強化する為にHACCP専門家指導の下、自動選別機・X線異物検出機を導入などハード面の補強及びソフト面の改善を行い、安全性基準をクリアした高品質な商品を製造する。
- (2)冷凍ホタテ貝柱の対米HACCP認定取得の為に、X線検査機の増設、隔離カーテンの新設を行うことにより、異物混入の防止、交差汚染防止などの対策を行い、品質管理・衛生管理を向上させ、対米HACCP認証を取得。
- (3)適正価格で安定的な原料確保を行う為に、生産量増産による漁協との関係強化、施設整備による省力化などにより、適正価格で安定的な原料確保及び稼働率の向上、人件費削減による収益向上で安定経営を目指す。

##### 【流通】

- (1)グループ会社との連携で輸出事業計画を遂行し、輸出業者へのアプローチを強化する。

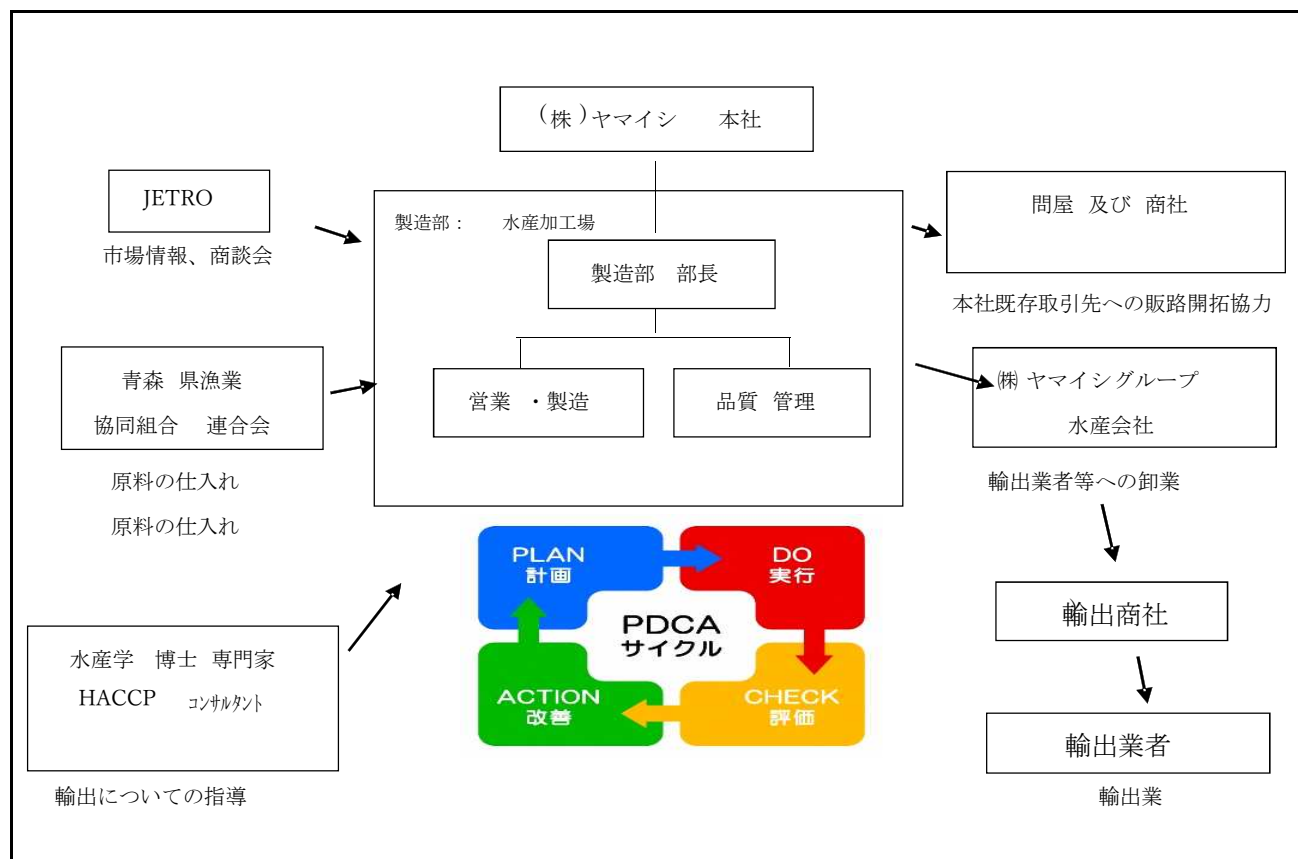
##### 【販売】

- (1)販路開拓を行う為に、JETRO商談会及びマッチングサイトの活用、問屋及び商社の既存取引先へ販路開拓協力を要請。

## 輸出事業計画

※申請者名：株式会社ヤマিশ、品目：冷凍ホタテ貝柱

### 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



### 4. 輸出目標額

| 品目／輸出項目          |          | 現状<br>(2022年1月期) | 目標年<br>(2028年1月期) | 備考 |
|------------------|----------|------------------|-------------------|----|
| 陸奥湾地区<br>冷凍ホタテ貝柱 | 輸出額 (千円) | 20,104           | 51,300            |    |
|                  | 輸出量 (t)  | 7.1              | 19.0              |    |
|                  | 輸出先国     | 台湾               | 台湾・アメリカ           |    |
|                  | 生産量 (t)  | 13.5             | 40.0              |    |